

国道10号現地診断 (大分県豊後大野市犬飼町)

令和元年度にLPを用いて抽出された箇所(国道10号160k000付近:豊後大野市犬飼町久原)であり、令和2年度の安定度調査で斜面上部に亀裂の発達し一部浮石化した露岩が存在し、下部に不安定な転石を確認した。今後浮石等の不安定化が進行し、落石が発生する可能性があるため、対応策の検討のため、学識者による現地調査を実施した。

出席者:大分高専 工藤准教授

● テックドクターによる調査(令和3年1月12日)



【現地状況について】

- ・対象斜面は、平成27年度に落石が発生した終点側の隣接斜面(T010A032)と同様に、不安定な浮石や転石が点在しており、斜面の勾配も急であることから、抜け落ち等によって落石が発生する可能性がある。
- ・地震や豪雨等の影響により浮石の不安定化が進行して落石が発生した場合、道路に到達するおそれがあるため、対策が必要と考えられる。

【対策方法について】

- ・防護柵の嵩上げ、柵の上部を道路側に曲げる、終点側の新設ネットの延伸等の対策工が考えられるが、詳細は、浮石転石調査を行ったうえで検討する。錆びや緩んだ既設ワイヤーロープは補修が必要である。
- ・上部斜面の太陽光発電箇所の排水処理状況のチェックも必要である。